

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号 23009

「学ぶ力」	
成果	課題
◇自ら課題を見付け、進んで学習に取り組むことができた。 → 8割がA・B評価 ～保護者・児童アンケート、職員評価より ◇地域の特色を生かした学習で目的意識をもって課題に取り組む姿が見られた。 → 9割がA・B評価 ～保護者・児童アンケート、職員評価より	◆自分から進んで家庭学習に取り組んでいますか。 → 3割以上がC・D評価 ～保護者・児童アンケート、職員評価より ◆クロームブックを活用して興味のある学習や課題に取り組んでいますか。 → 3割近くがC・D評価 ～保護者・児童アンケート、職員評価より
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇令和7年度の児童・保護者アンケートや学校評価の結果から、学ぶ意欲をもち、様々な学習や活動に生き生きと取り組む姿が見られた。また、仲間と支え合い、お互いを高め合う姿も見られたという結果が出た。学び合いや助け合いの大切さを感じ、学校生活を送ることができたことが成果である。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

授業で子どもを育てる「課題探究的な学習」「振り返り」の充実 ～令和8年度研究重点より～

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	◇一人一人の自信や達成感を生む授業の工夫・改善 →子ども一人一人の願いや「もっとやってみたい。」という思いを大切にしたきめ細やかな授業づくり ◇パートナー校との連携 →めざす子どもの姿についてパートナー校との情報共有・実践交流 ◇地域を題材にした学習 →地域に愛着をもち、自分ごととして学びを深める体験的な学習	◇お互いのよさを認め合い、高め合える環境づくり →ファミリー活動を柱に年間を通した異学年交流の充実 →行事や児童会活動等で児童が主体的にいい声・顔・姿を発信できる機会の設定 ◇自分たちの生活を振り返る場の設定 →日常の学習や行事などで、自分たちの頑張りや成長を知り、お互いのよさを伝え合うための振り返りの設定
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
◇授業改善・工夫、効率化 … 学びの見える化を図る。振り返り等の活用により、自らの学びにつながりをもたせる。既習の活用に生かす。 ◇交流の多様化 … リモートなどにより、自らの学びを発信したり、新しい情報を受信したりする。		

<本プログラムの実行に向けて>

